

平成22年2月21日
第35回札幌市医師会医学会

民間の単科精神科病院における 長期入院者と退院支援

五稜会病院

中島公博、古根 高、鈴木健史、富永英俊
瀧澤美幸、坂岡ウメ子、千丈雅徳

はじめに

- 我が国の精神保健医療福祉施策は、「入院医療中心から地域生活中心へ」という基本的方策を推し進めるため、平成16年9月に取りまとめられた「精神保健医療福祉の改革ビジョン」に基づいている。
- 自治体においても、平成18年10月から障害者自立支援法における精神障害者退院促進支援事業が実施されている。
- 当院でも長期入院者の退院促進を積極的に行っているが、医療者側の思い通りに退院が進まないのが現状である。そこで、当院における長期入院者の現状ならびに退院状況について検討した。

対象と方法

- 平成13年～21年度までの入院台帳および退院台帳から1年以上の長期入院となっている患者の実態調査を行う。
- 長期入院者のうち入院継続者と退院出来た患者の精神症状等の精神医学的要因、家族関係等について比較検討する。

<http://www.goryokai.com/>

五稜会病院における長期入院者

■ 年度別長期入院者(在院者)の割合、1年残存率

年度別入院者 平成22年1月31日現在

年度	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	総計	%
総計	411	448	533	683	679	670	630	625	597	5276	
年齢別											
20歳未満	27	37	48	71	80	73	62	55	61	514	9.7%
20歳以上40歳未満	174	200	267	324	351	349	297	314	286	2562	48.6%
40歳以上65歳未満	187	181	204	263	228	224	239	232	219	1977	37.5%
65歳以上75歳未満	23	27	12	19	16	18	25	19	28	187	3.5%
75歳以上		3	2	6	4	6	7	5	3	36	0.7%
退院者の入院期間											
1ヶ月未満	126	150	212	244	229	240	188	169	150	1708	32.4%
1月以上2月未満	83	91	119	173	179	173	147	162	157	1284	24.3%
2月以上3月未満	59	67	94	133	125	120	145	149	121	1013	19.2%
3月以上6ヶ月未満	81	95	76	100	96	103	108	103	74	836	15.8%
6月以上1年未満	30	22	21	22	32	18	27	21	14	207	3.9%
1年以上3年未満	21	16	6	4	14	13	9	4		87	1.6%
3年以上5年未満	3	2	1	4	1					11	0.2%
5年以上10年未満	3									3	0.1%
現在入院中	5	5	4	3	3	3	6	17	81	127	
1年以上残存率	7.8%	5.1%	2.1%	1.6%	2.7%	2.4%	2.4%	3.4%			2~5%

在院者の入院期間別うちわけ

平成22年1月31日現在、在院者

入院期間	人数	%	累計
1ヶ月未満	32	20.0%	20.0%
1月以上2月未満	23	14.4%	34.4%
2月以上3月未満	22	13.8%	48.1%
3月以上6ヶ月未満	18	11.3%	59.4%
6月以上1年未満	14	8.8%	68.1%
1年以上3年未満	23	14.4%	82.5%
3年以上5年未満	6	3.8%	86.3%
5年以上10年未満	14	8.8%	95.0%
10年以上	8	5.0%	100.0%
1年以上の入院者	51	31.9%	
計	160	100.0%	

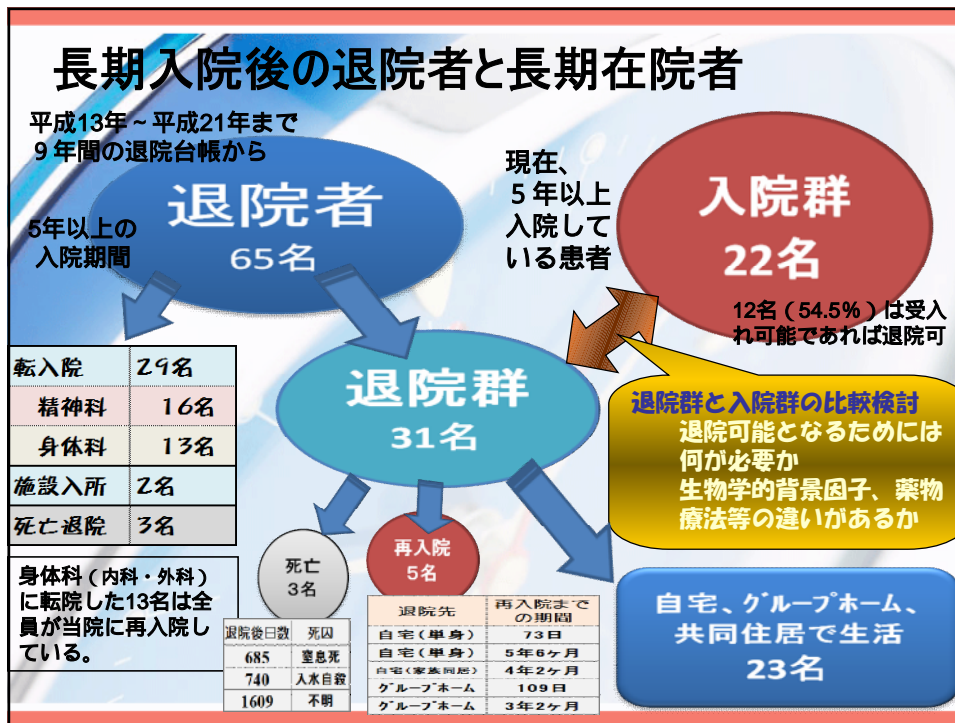
- 入院3ヶ月未満の急性期患者が半数
- 1年以上の入院者は51名、約3割
- 1年残存率 過去5年間 1.6~3.4%
- 受入条件が整えば退院可能者 24名(15.0%)
- 病床数193床で33床の空床をどうするか。

<http://www.goryokai.com/>

年度別退院者の入院期間

退院年度	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	総計	%	累計	累計%
退院者数	394	458	575	662	662	668	634	632	595	5280	100.0%	75%は3ヶ月以内に退院	
入院期間別													
1週未満	45	41	65	71	44	45	33	26	25	395	7.5%	395	7.5%
1週以上1月未満	82	107	139	174	184	191	154	146	129	1306	24.7%	1701	32.2%
1月以上2月未満	80	87	114	177	173	175	152	160	159	1277	24.2%	2978	56.4%
2月以上3月未満	47	77	84	123	126	113	150	146	140	1006	19.1%	3984	75.5%
3月以上6月未満	73	95	87	82	103	101	98	112	100	851	16.1%	4835	91.6%
6月以上1年年未満	39	23	30	17	21	26	26	26	23	231	4.4%	5066	96.0%
1年以上3年未満	15	18	28	6	7	9	15	10	10	118	2.2%	5184	98.2%
3年以上5年未満	8	3	7	3	1	4	1	2	2	31	0.6%	5215	98.8%
5年以上	5	7	21	9	3	4	5	4	7	65	1.2%	5280	100.0%
(10年以上)	3	3	12	5	1	3	3	1	4	35	0.7%	5年以上も複数退院	
1年以上	28	28	56	18	11	17	21	16	19	214	4.1%		
%	7.1%	6.1%	9.7%	2.7%	1.7%	2.5%	3.3%	2.5%	3.2%	4.1%	2.5%	2~4%	

<http://www.goryokai.com/>



長期入院後の退院者と長期入院者の比較

		退院群(31)	入院群(22)
年齢		30-70歳 (49.3歳)	35-73歳 (55.0歳)
	30歳代	6	4
	40歳代	9	3
	50歳代	11	5
	60歳代	4	7
	70歳代	1	3
男女比		16/15	9/13
病名	F0	1	21
	F2	27	1
	F3	2	
	F7	1	
病棟	開放/準閉鎖	8/23	9/13
入院形態	任意/医保	31/0	14/8
BPRS		24-51 (35.4)	31-68 (46.5)
GAF		40-75 (64.7)	20-65 (44.4)
薬剤	GP換算	0-1,975mg (551mg)	0-2,100mg (877mg)
	Bip換算	0-7mg (2.2mg)	0-7mg (2.1mg)
退院先	自宅(単身)	11	0
	自宅(家族)	6	1
	GH・共同住居	13	17
	施設	1	4
2: 支援により退院可能			11
3: 経過不確定で要入院			8
4: 難治または慢性長期化			3

- 入院群の方が年齢が高く、退院群では60歳代以降は少ない。
- 男女比は同様。
- 病名の違いによる差なし。
- 準閉鎖からも退院者は多いが、医保入院の退院はない。まず、任意にする。
- 退院群のBPRSは35、GAF平均は65。
- コンミン換算量では入院群で多い。
- 入院群の退院可能先としてグループホーム。

<http://www.goryokai.com/>

考察

- 我が国の精神保健施策として精神科病院での退院促進が叫ばれている。平成19年診療報酬改定時、精神科地域移行支援加算(200点/退院時)、精神科地域移行実施加算(50点/日)新設。
- 当院でも退院支援を積極的に推し進めている。それには、管理者・主治医、コ・メディカルの熱意が重要。退院支援地域連携パスが有用。
- 退院後はACT(包括型地域生活支援)が有用と思われるが、現実に即した柔軟な態勢を構築する必要がある。
- 退院促進には、総合的な精神科医療の在り方を検討すべきである。

まとめ

- 長期入院者の退院促進には、退院前後のリハビリテーション、グループホーム確保、包括型支援体制構築のみならず、急性期医療、空床対策など、総合的な病院運営を考慮する必要がある。

文献

- 「精神保健医療福祉の改革ビジョン」厚労省 平成16年9月
- 八木こずえ、浮田志保:長期療養患者の退院支援・地域連携パス 精神科看護 36:13-19,2000

<http://www.goryokai.com/>